

1 開会

2 報告

- |                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について          | 資料1 |
| (2) 岩手県における新型コロナウイルス感染症の対応について     |     |
| ① 国の新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針の変更について    | 資料2 |
| ② 濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について  | 資料3 |
| ③ PCR等無料検査実施期間の延長等について             | 資料4 |
| ④ いわて旅・いわての食応援プロジェクト等について          | 資料5 |
| ⑤ 小学校等における新型コロナウイルス一斉・定期的検査の実施について | 資料6 |

3 その他

4 本部長指示

5 閉会

2 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料1-1

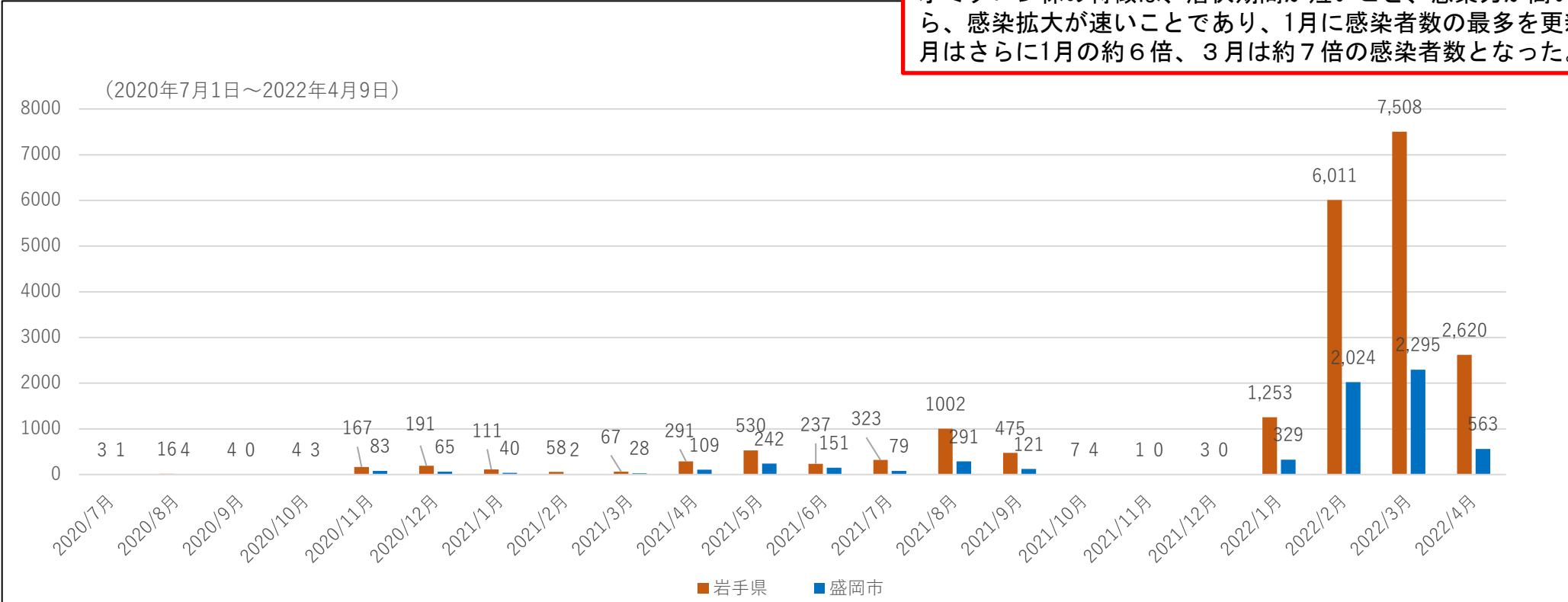
1 本市における発生数等  
ア 発生数等

(人、4月9日時点)

陽性者数 (累計)	入院治療等を要する数		自宅療養者数	退院又は療養解除者数 (累計)	死亡者数 (累計)
		重症者数			
6, 434	38	0	418	5, 948	26

イ 発生状況の推移  
新型コロナウイルス感染症発生状況 岩手県・盛岡市月別公表分

令和4年(2022)1月初旬からオミクロン株による患者が増加してきた。オミクロン株の特徴は、潜伏期間が短いこと、感染力が高いことから、感染拡大が速いことであり、1月に感染者数の最多を更新後、2月はさらに1月の約6倍、3月は約7倍の感染者数となった。



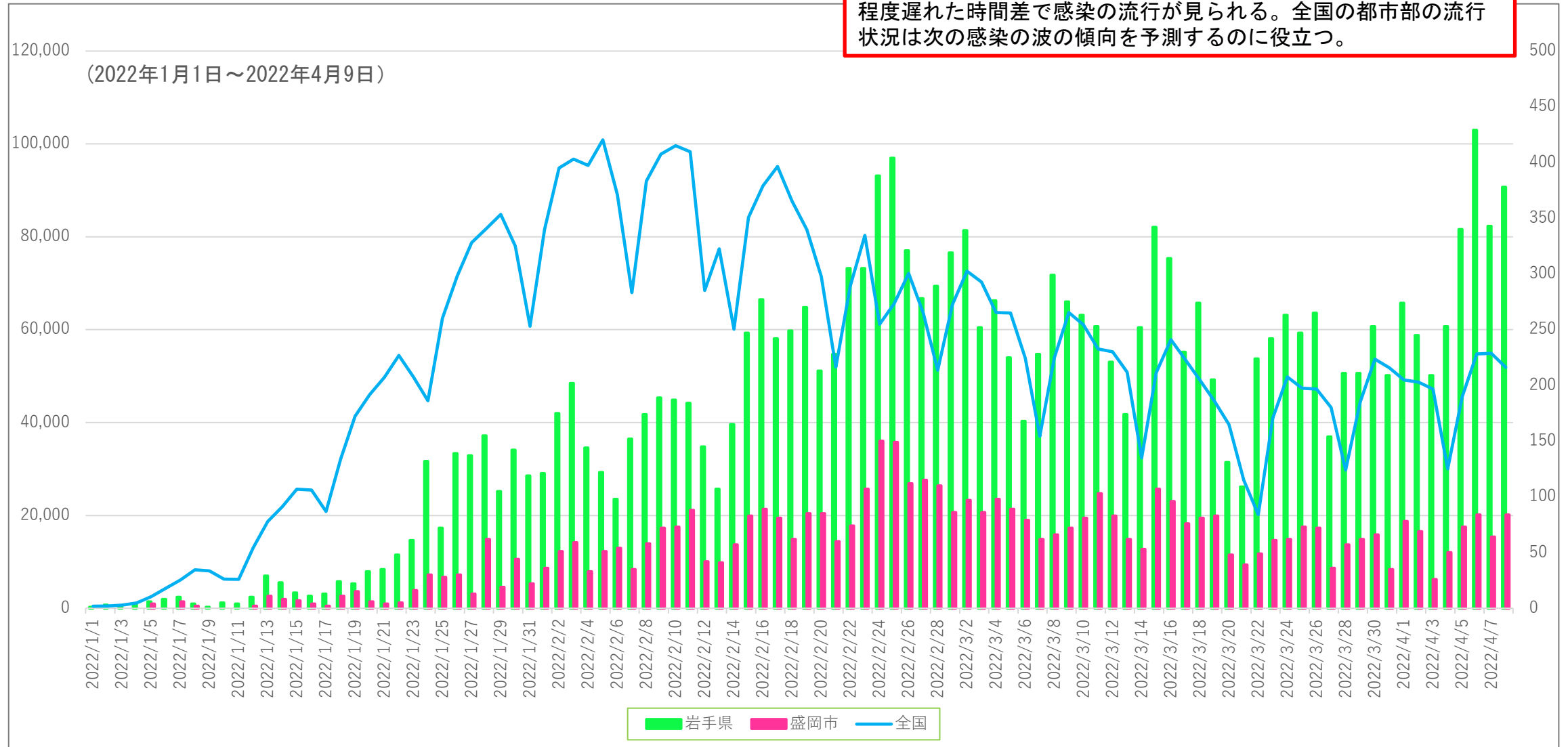
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料1-2

ウ 新型コロナウイルス感染症発生状況 全国、岩手県、盛岡市

令和4年(2022)の日単位の比較では、岩手県は、全国と約2週間程度遅れた時間差で感染の流行が見られる。全国の都市部の流行状況は次の感染の波の傾向を予測するのに役立つ。



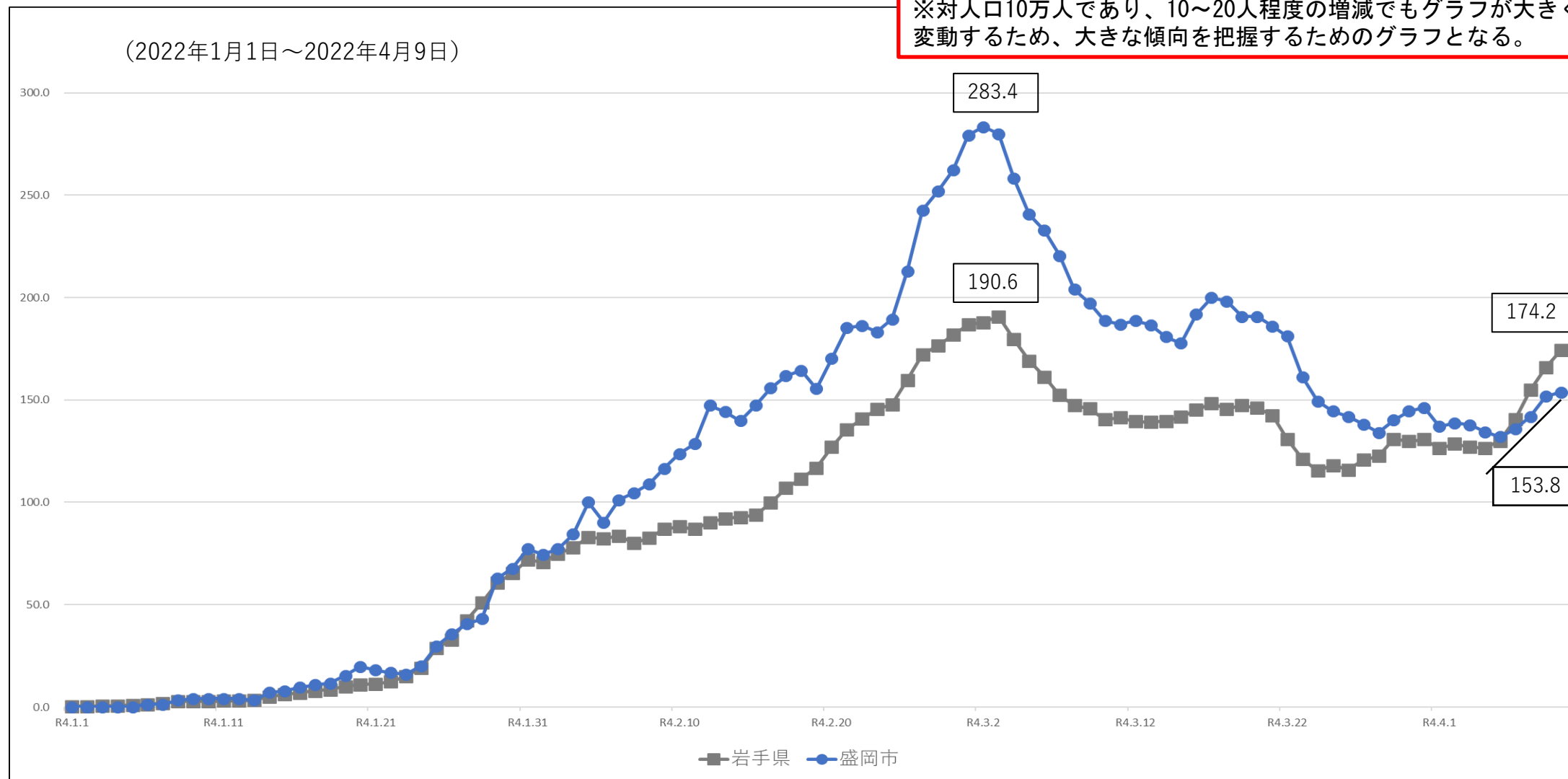
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料1-3

エ 直近1週間の新規患者数（対人口10万人） 岩手県、盛岡市

令和4年(2022)1月初旬からオミクロン株による患者が増加してきた。「教育・保育施設」、「学校」クラスターが多く出た。  
※対人口10万人であり、10～20人程度の増減でもグラフが大きく変動するため、大きな傾向を把握するためのグラフとなる。



## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料1-4

オ 岩手県の療養者の推移

令和4年(2022)1月以降は、軽症者の割合が高く、自宅療養者が圧倒的に多くを占めている。



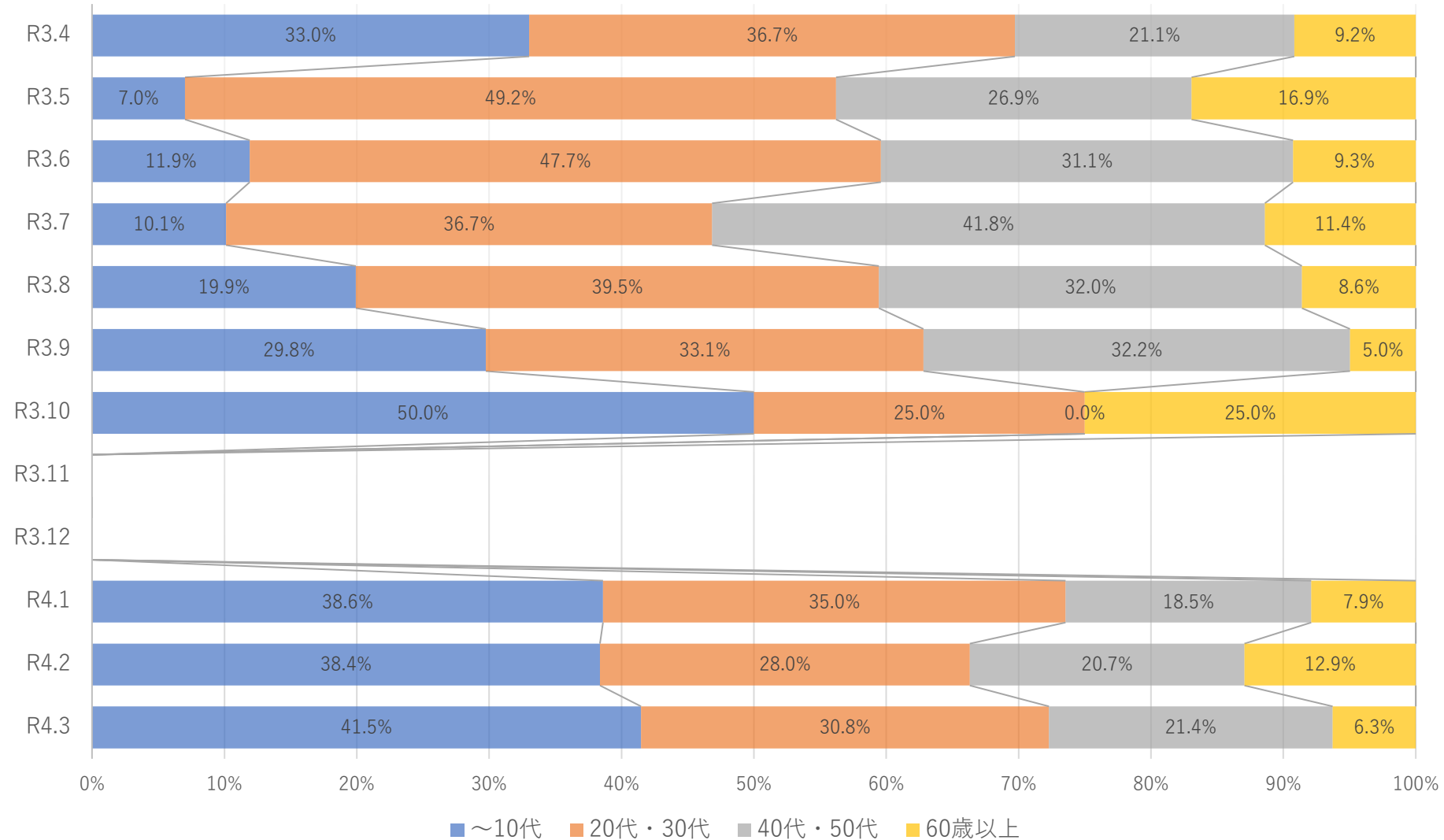
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料1-5

カ 陽性者の年代別割合 盛岡市

第6波では、始めから第5波と比較して若い世代の陽性者の占める割合が高く、持続している。



## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルス感染症の対応について

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| ① 国の新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針の変更について    | 資料 2 |
| ② 濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について  | 資料 3 |
| ③ PCR等無料検査実施期間の延長等について             | 資料 4 |
| ④ いわて旅・いわての食応援プロジェクト等について          | 資料 5 |
| ⑤ 小学校等における新型コロナウイルス一斉・定期的検査の実施について | 資料 6 |

## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料 2

#### ① 国の新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針の変更について

##### 1 概要

3月17日に国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が変更され、積極的疫学調査の実施方針やまん延防止のための呼びかけの内容について変更が行われた。

##### 2 主な変更内容

(1) オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策（新型コロナウイルス感染症の対処に関する全般的な方針）

- ・「学校等」「保育所、認定こども園等」「高齢者施設」について、感染が拡大している又は高止まりしている地域において、クラスターが多発する場合には、地域の実情に応じ、職員等に対する検査の頻回実施を行うこととされた。
- ・保育所、認定こども園等については、発熱等の症状がある児童の登園自粛を徹底することとされた。

(2) サーベイランス・情報収集（新型コロナウイルス感染症対策の実施に関する重要事項）

- ・積極的疫学調査について、地域の感染状況や保健所の実施体制に応じて実施することとされた。
- ・積極的疫学調査の実施及び濃厚接触者の特定について、保健所等による対応が可能な自治体においては、引き続き、幅広く行うこととしつつ、オミクロン株が主流の間は、濃厚接触者の感染リスクが低い事業所等において、保健所等による濃厚接触者の特定を行わない場合は、出勤については一律に制限を行わないこととされた。

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料

(3) 緊急事態措置区域及び重点措置区域以外の都道府県（まん延防止）

- ・帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動は、基本的な感染防止策を徹底に加え、移動先での感染リスクの高い行動を控えるよう促すものとされた。
- ・緊急事態措置区域及び重点措置区域への不要不急の移動は、「極力控えるように促す」から、「都道府県知事の判断により、極力控えるように促すことができる」と変更された。

(4) 経済雇用対策

- ・「経済社会活動を極力継続できる環境を作り、安全・安心を確保していく。」から「感染症の脅威を社会全体として引き下げながら、経済社会活動の正常化を図っていく。」と変更された。



## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料 3

#### ② 濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料

##### 【要旨】

国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が令和4年3月17日に変更になったことに伴い、オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえ、**濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について**、岩手県における取扱方針を下記のとおりとします。

#### 1 発生場所毎の濃厚接触者の特定と行動制限について

感染者の発生場所	濃厚接触者の特定と行動制限	濃厚接触者の待機期間	待機期間の特例
同一世帯内	保健所等による濃厚接触者の特定・行動制限を実施 【これまでと同様の取り扱い】	原則7日間（8日目解除）だが、 <u>社会機能維持者が否かにかかわらず</u> 、4・5日目の <u>抗原定性検査キットで陰性確認</u> （自費検査）後、 <u>5日目から解除を可能</u> （7日間は、検温など自身による健康状態の確認等を求める。）	
事業所等	<u>保健所等による一律の積極的疫学調査及び濃厚接触者の特定・行動制限は実施しないが</u> 、同時に多数の感染者が発生し、感染拡大の場となっている可能性がある状況や、基本的な感染対策を行わずに飲食を共にするなど感染リスクの高い場合等、さらなる感染対策の必要性が認められる場合における保健所等による調査や、感染対策の協力要請を実施		
入院医療機関、高齢者・障害児童入所施設	保健所等による濃厚接触者の特定・行動制限を実施 【これまでと同様の取り扱い】		代替え職員等が見つからないなど、 <u>業務継続が困難な場合は、保健所等の判断により</u> 、待機期間中においても、 <u>毎日の検査による陰性確認によって、業務従事を可能</u>
保育所、幼稚園、小学校等	保健衛生部局と児童福祉部局等と連携して濃厚接触者の特定・行動制限を実施 【これまでと同様の取り扱い】		
集団感染（クラスター）が発生した場合	事業所等の中で同時に5名以上の集団感染が発生した場合等においては、保健所による濃厚接触者の特定・行動制限を実施 【これまでと同様の取り扱い】		

#### 2 積極的疫学調査について

重症化リスクの高い集団及び同居家族等に重点化して積極的疫学調査を実施する。【これまでと同様の取り扱い】

## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料 4

#### ③ PCR等無料検査実施期間の延長等について

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料

##### 【要旨】

薬局や医療機関等で実施しているPCR等の無料検査については、①一般検査事業と②定着促進事業の2種類で実施していますが県内での新型コロナウイルスの感染状況や国の基本的対処方針の変更等を踏まえ、実施期間を延長します。

①一般検査事業については、感染不安のある方を対象とした検査を実施していますが、4月30日までとします。

②定着促進事業については、ワクチン検査パッケージ等を活用するための検査を実施していますが、6月30日までとします。

#### 1 一般検査事業について

##### (1) 延長期間

令和4年4月1日（金）から令和4年4月30日（土）

##### (2) 検査の内容【変更なし】

PCR等検査又は抗原定性検査

##### (3) 無料検査対象者【変更なし】

- ・発熱等の症状がない方  
(発熱症状のある方は、診療・検査医療機関等に相談)
- ・感染不安を感じる無症状の方

#### 2 定着促進事業について

##### (1) 延長期間

令和4年4月1日（金）から令和4年6月30日（木）

##### (2) 検査の内容

原則として抗原定性検査

##### (3) 無料検査の対象者【変更あり】

コロナワクチンの3回目接種未了の無症状者かつワクチン検査パッケージ等を活用した事業を利用する際の検査証明書が必要な方

#### 3 周知について

県ホームページ等により、実施期間延長についてお知らせします

#### 4 検査実績について

令和3年12月20日から令和4年3月20日まで

区分	検査件数		
	総数	PCR	抗原定性
定着促進事業	3,472	1,592	1,880
一般検査事業	21,381	12,430	8,951
合計	24,853	14,022	10,831

## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料5

#### ④ いわて旅・いわての食応援プロジェクト等 について

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料

##### 1 「いわて旅応援プロジェクト（第2弾）」の期間延長及び対象拡大

「いわて旅応援プロジェクト（第2弾）」について、3月31日（木）宿泊・出発分までとしていた実施期間を4月28日（木）宿泊・出発分まで延長し、4月1日（金）から岩手県居住者以外の利用条件を変更します。

また、割引支援対象者を北海道・東北ブロックに拡大します。

##### (1)実施期間

令和3年10月1日（金）から令和4年4月28日（木）宿泊・出発分まで

##### (2)割引率、クーポン（変更なし）

- ・県内旅行の宿泊代金等を宿泊施設又は旅行会社で割引（旅行商品代金の50%、1人当たり5千円が上限）
- ・土産物店等で利用可能な2千円のクーポン券を宿泊施設又は旅行会社で配布

##### (3)割引等対象

隣県から北海道・東北ブロックに拡大

※4月1日から岩手県、北海道、宮城県、秋田県、山形県及び福島県の居住者を対象に実施。

※青森県居住者は、1月27日から割引停止中。

##### (4)利用条件

- ・ワクチン3回接種済又は検査結果陰性であること。
- ・ただし、岩手県居住者が岩手県内で宿泊又は日帰り旅行する場合はワクチン2回接種済で利用可。また、宮城県又は秋田県の居住者が令和4年3月31日までに予約した場合はワクチン2回接種済で利用可。
- ・12歳未満は同居する親等の監護者同伴の場合は検査不要

##### (5)事業の一時停止の基準

- ・県内の全域又は一部区域がまん延防止等重点措置区域となった場合
- ・県内の感染状況が国の新たなレベル分類の考え方におけるレベル3相当となった場合
- ・北海道又は東北（本県以外）の全域又は一部区域がまん延防止等重点措置区域となった場合（当該道県居住者）
- ・北海道又は東北（本県以外）の感染状況がレベル3相当となった場合（当該道県居住者）
- ・上記に関わらず、感染状況等による国又は県の対応に応じて一時停止することがある。

## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料 5

#### ④ いわて旅・いわての食応援プロジェクト等 について

##### 2 いわての食応援プロジェクト（第2弾）（令和4年度第1号補正予算）

###### (1)発行予定数

発行冊数：計35万冊、発行額：17億5千万円

###### (2)参加店舗の要件

県が運用する感染症防止対策「いわて飲食店安心認証制度」の認証を受けている飲食店

###### (3)発行する食事券

額面5,000円（500円×10枚綴り）、販売価格4,000円（25%のプレミアム付き）

###### (4)販売、利用期間

一定の準備期間が必要となるため、現在、5月中旬までに販売・利用を開始する方向で調整を始めており、利用期限は12月中を予定

###### (5)事業の一時停止の基準

- ・県内がまん延防止等重点措置区域となった場合
- ・県内の感染状況が国の新たなレベル分類の考え方におけるレベル3相当となった場合
- ・上記に関わらず、感染状況等による国又は県の対応に応じて一時停止することがある。

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料

##### 3 中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業費補助（令和4年第1号補正予算）

###### (1)趣旨

新型コロナウイルス感染症対策として国が策定した「中小企業活性化パッケージ」では、収益力改善に加えて事業再生支援、再チャレンジ支援、一元的支援体制の構築が盛り込まれていることから、国が設置する「岩手県中小企業活性化協議会」と連携し、現在、商工指導団体に設置している経営相談窓口とは別に、金融面の課題解決を主とした相談体制を強化するため、その運営に要する経費を補助するもの。

###### (2)内容

###### ア目的

過剰債務等に苦しむ中小企業者が事業再生や再チャレンジ等に取り組む場合に、「岩手県中小企業活性化協議会」を補完し、県内金融機関や商工指導団体、事業再生の専門家等が連携して事業者の実情に応じた支援を実施する。（県内35商工会指導団体を窓口としてワンストップ化）

###### イ補助対象者

商工指導団体（商工会連合会、商工会議所）、岩手県信用保証協会

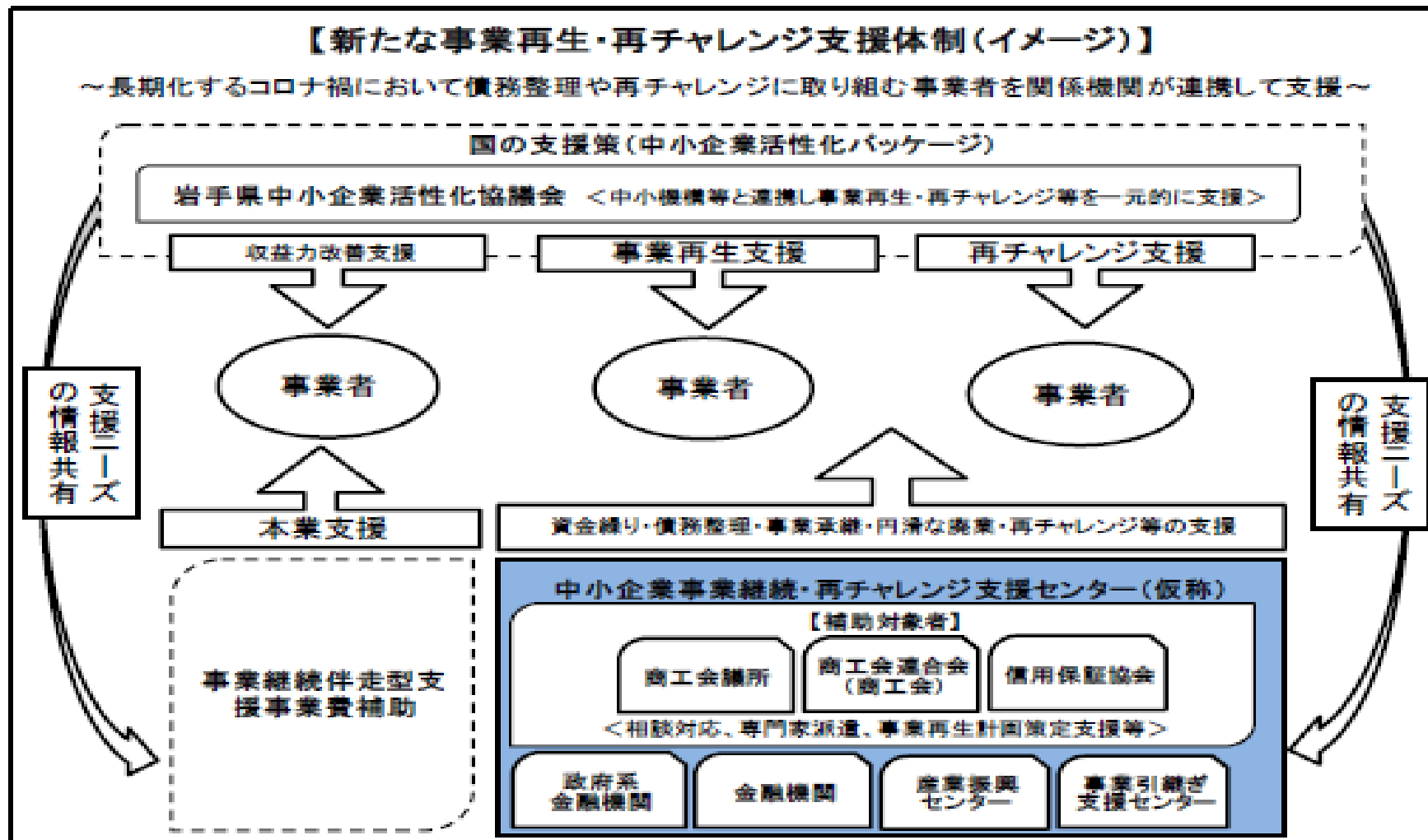
## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料5

#### ④ いわて旅・いわての食応援プロジェクト等 について

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第53回本部員会議資料





## 2 報告

### (2) 岩手県における新型コロナウイルスの対応について

資料 6

#### ⑤ 小学校等における新型コロナウイルス 一斉・定期的検査の実施について

※岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第54回本部員会議資料

##### 【要旨】

新学期の開始にあわせ、既に一斉・定期的検査を実施中である高齢者施設、教育・保育施設に加え、ワクチン接種対象年齢未満の児童等が在籍し、クラスターの事例が多い小学校のほか、医療的ケアが必要な児童等が在籍する特別支援学校等の職員を対象に、一斉・定期的検査を実施します。

#### 1 小学校等における一斉・定期的検査の実施について

新学期の開始にあわせ、ワクチン接種対象年齢未満の児童等が在籍し、クラスターの事例が多い小学校のほか、医療的ケアが必要な児童等が在籍する特別支援学校等の職員を対象に、一斉・定期的検査を実施する。（教育・保育施設については既に一斉・定期的検査を実施中）

##### (1) 対象地域

県内全域（調整中）

##### (2) 対象施設

小学校、特別支援学校

##### (3) 対象者

対象となる学校の職員であって無症状の者（児童等に直接接触する職員等）

##### (4) 実施期間

令和4年4月中旬～

#### 2 対象施設及び対象者数

種別	施設数（校）	対象者数（人）
小学校	296	5,300
特別支援学校	15	1,400
合計	311	6,700